**APECアーキテクト登録の「更新」又は「再登録」審査に係るCPD免除申請書　　　様式　７（2024 / R6）**

登録番号：

氏　　名：

注意：登録の更新又は再登録審査申請者のうち、**CPDの免除の申請をする方のみ、提出が必要**です。

|  |
| --- |
| 私は、登録の更新又は再登録審査申請に当たり、以下の理由によりCPDの免除を申請いたします。 |
| CPD免除の理由（下記より該当する番号に○を付け、該当する理由を記述して下さい。） |
| １．海外在住者　（海外に在住しており、所要時間数のCPDを実施することが特に困難であったため）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ＜海外在住期間＞(西暦) | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | 年　　　　　ヶ月間 |
| ＜在住国名＞ |  |

＜所要時間数のCPDを実施することが特に困難であった理由を下欄に記述して下さい。（150字程度）＞（注意）　**2023年から一定のCPDの実施が必須要件となりました。（詳しくは、「ＡＰＥＣアーキテクト新規申請者/登録者のための継続的な専門能力開発について」をご覧ください。**滞在国においても当該国のCPDプログラムへの参加、Webによる講習会の参加、専門書誌講読等自己学習型のCPDは実施可能であり、一定のCPDの実施が求められます。このため、海外在住期間においても、実施したCPDの記録を建築CPD情報システムに入力しておいて下さい。 |
| ２．長期療養者　（長期に渡り病床にあり、CPDを実施することが特に困難であったため）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ＜病床期間＞(西暦) | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | 　　年　　　　　ヶ月間 |

＜CPDを実施することが特に困難であった理由を下欄に記述して下さい。（150字程度）＞ |
| ３．建築設計実務実績者　（建築設計実務において、CPDを求める必要が無い程、十分な実績を有しているため）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ＜一級建築士登録後概ね建築設計実務に従事し続けた期間＞ (西暦) | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | 年　　　　　ヶ月間 |

下記より該当する記号に○を付け、該当する理由等を記述して下さい。a．今回、新規に申請、又は過去の更新時に、理由３によるCPD免除が認められたことの通知を受理していない方＜CPDを実施する必要が無い程、十分な実績を有していると考える理由を、下欄に記述して下さい。（150字以上）＞・建築設計実務に従事し続けた期間全体の実績について、複数の具体的なプロジェクト名、又は、所属会社若しくは団体及びそこでの具体的業務内容を含めて記述して下さい。・建築設計実務従事期間が**25年超30年未満の方**は、上記に加え、最近３年間（審査より遡った３年間）に担当したプロジェクトのうち１件以上について具体的な記述（規模、担当業務内容等）及び、申請者が当該プロジェクトに携わっていたことが分かる**資料を提出**して下さい。・下記欄に書ききれない場合は、適宜用紙を追加し、説明して下さい。資料等の添付も可とします。b．過去の更新時に、理由３によりCPD免除を認められたと通知があった方＜建築設計実務に従事し続けた期間の実績に代えて、最近３年間の活動状況（例えば、所属や立場の変化等）を、下欄に記述して下さい。＞（注意）建築設計実務従事期間が25年未満の方は、CPD免除にはなりませんのでご留意下さい。 |
| 【理由記入欄】 |
|  |